

石川県医師会医師無料職業紹介所における登録状況

平成 12 年 4 月 1 日 石川県医師会事務局内に開設 (17-ム-300004)

求人対象：石川県内に所属する医療機関

求職対象：石川県内の医師

令和 7 年 11 月 5 日現在の登録状況

○求人登録施設数 25 施設 (診療所 5 病院 17 老健施設 2 検診 1)

求人数 47 名 (常勤 36 名 非常勤 11 名)

区分	診療所	病院	老健施設	検診	合計
常勤	5	29	2	0	36
非常勤	3	5	0	3	11

○求職登録者数 8 名

年代	性別	診療科・施設等	勤務形態
60	男	脳血管障害、老健施設	非常勤 (木曜午後)
60	女	整形外科、内科、健診	非常勤
50	女	耳鼻咽喉科、老健施設	常勤・非常勤
70	男	健診、老健施設、産業医	常勤・非常勤
70	男	婦人科検診	非常勤
80	男	内分泌代謝内科、健診、老健施設	常勤・非常勤
70	男	小児科、健診、老健施設	常勤・非常勤
70	男	腎臓内科、糖尿病内科	常勤・非常勤

○紹介件数・成立件数

年度	紹介件数	成立	成立の内訳
令和 4 年度	1 件	0 件	
令和 5 年度	2 件	2 件	80 代男性 (健診機関・非常勤) 60 代男性 (病院・非常勤)
令和 6 年度	3 件	3 件	50 代男性 (診療所・非常勤) 60 代女性 (病院・常勤) 70 代女性 (病院・非常勤)
令和 7 年度	4 件	1 件	50 代男性 (診療所・非常勤)

※不成立の詳細

令和4年度1件：60代男性医師（診療所・非常勤希望）

理由→条件不一致（求職側からの申し出あり）

令和7年度：3件

うち2件：50代男性医師（病院・非常勤希望）

理由→大学において研究期間が長く、臨床経験が浅く不安を感じたため（求人側）

うち1件：70代男性医師（診療所・非常勤希望）

理由→現在の管理者が本年度中に退職予定で、将来的に管理者継承の依頼があったため（求職側）

令和6年度 メンター活動報告会

日 時：令和6年11月30日（土）、12月8日（日）午後3時～4時20分

場 所：石川県医師会館 4階 委員会室+Zoom

出席者：女性医師メンター、メンター配置病院事務局、女性医師コーディネーター 計19名

議 題

- (1) 令和5年度活動報告について
- (2) 金沢大学医薬保健学域医学類総括講義及び金沢医科大学医学部臨床講義について
- (3) 令和6年度女性医師勤務状況調査結果について
- (4) 女性医師支援セミナーについて
- (5) 石川県女性医師支援センターパンフレット（第14版）の作成について
- (6) メンターによる今年度の活動状況及び意見交換

＜主な活動内容と意見＞

- ・ダイバーシティ推進室の設置について
- ・ミニレクチャーと異業種の講演会について
- ・女性職員懇談会について
- ・院内でのアンケート調査の実施について
- ・茶話会の実施について
- ・若手医師のキャリア志向の低下について
- ・多様性と若手医師の考え方について
- ・中堅医師の留学と学位取得について
- ・距離感が近い後輩女性医師の対応について
- ・理解の無い管理職の対応について
- ・業務分担と負担軽減について
- ・男性医師の育休取得について
- ・若手医師を残すための方法、学生と研修医の対策について
- ・女性医師メンターの若返りについて

金沢大学 第11回ワーク・ライフ・マネジメントセミナー

日 時：令和7年2月22日（土）午後2時～4時20分

会 場：金沢大学附属病院 外来診療棟4階 C P Dセンター

テーマ：医師の多様な生き方を考える

参加者：19名（医師15名、看護師1名、医学生3名）

進行 金沢大学附属病院 メンター

放射線科 奥田 実穂 先生

小児科 井美 暉子 先生

1 開会挨拶

金沢大学附属病院 病院長 吉崎 智一 先生

2 第1部 金沢大学医局からの講演

講演①「変わりゆく私の中のワークライフバランス」

腎臓・リウマチ膠原病内科 竹治 明梨 先生

講演②「仕事・大学院入学・専門医受験などと、家事育児」

内分泌・代謝内科 奥村 美輝 先生

講演③「気持ちよく働き生活するために～小児科医として思うこと～」

小児科 井上 なつみ 先生



3 第2部 懇談会



4 閉会挨拶

石川県女性医師支援センター コーディネーター

金沢大学附属病院メンター 森下 英理子 先生

<演者からのメッセージ>

ワークライフバランスは難しいが、互いに影響し合う必要不可欠なものである。
臨床研究のお勧め、パートナーとの協力、心の余裕を持つこと。
人それぞれのワークライフバランスの理想像は異なる。
先輩や友人の経験談やアドバイスを参考に、気持ちよく自分が納得できる働き方をみつけること。

<コーディネーター（先輩女性医師）からのメッセージ>

ワークとライフを自分でマネジメントしていく時代である。
是非、上を目指す医師になってほしい。努力に見合った分の違った景色を見てほしい。

令和7年度 金沢大学医薬保健学域医学類総括講義

日 時：令和7年9月8日（月）午前10時30分～12時

場 所：金沢大学宝町キャンパス 医学類G棟2階 第3講義室

テマ：男女共同参画・医師のキャリア形成

対 象：医学類6学年

受講者：102名

1 開会挨拶 石川県女性医師支援センター コーディネーター
石川県医師会理事 森下 英理子

2 講演 「たたきあげ臨床家から臨床医のススメ
ある内科総合医～ホスピタリスト～救急医～臨床教育者より～」
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター副センター長
聖マリアンナ医科大学救急医学教授 北野 夕佳 先生

＜学生へのメッセージ＞

- ・迷っていい。人生に選択のチャンスや分岐点はいくつもある
- ・自分がしたいこと、熱意を感じられる科へ、目の前の仕事に全力を
- ・とにかく貪欲に、多くの症例経験を
- ・自分が主治医であること、指導医はいないつもりで、毎回自分で判断すること
- ・節目節目で5年後にどうしてみたいかを自問すること
- ・親業が始まる前に全力疾走
- ・家事業に手を抜いても親業という重要な社会的仕事には手を拭かないこと
- ・言われたまま動ける人は、突然使えない人になる。人を育てられる人に



3 質疑応答（個別を含む）



4 閉会 石川県女性医師支援センター コーディネーター
石川県医師会副会長 輛 千栄子

令和7年度 石川県女性医師支援センター 金沢医科大学医学部臨床講義

10月24日（金）午前10時から金沢医科大学病院 中央棟4階 北辰講堂において、「働き方改革運用開始後、これからのキャリア形成の未来予想図の描き方」をテーマに講義を行った。

受講対象：医学部第5学年

受講者：95名

司会 石川県女性医師支援センター コーディネーター

金沢医科大学総合内科学臨床教授

金沢医科大学病院集学的医療部女性総合医療センター センター長

赤澤 純代

1 開会挨拶 金沢医科大学病院病院長 川原 範夫 先生

2 基調講演

「女性医師のワークライフバランス～これまでとこれから～」

石川県医師会副会長

石川県女性医師支援センター コーディネーター

轟 千栄子

- 柔軟な勤務体制と多様な保育システムの整備、上司と同僚の理解と支援
- 育児・介護休業法の改正、産後パパ育休制度の利用と働き方改革
- 男性も働きやすい環境を



3 特別講演

「産婦人科専門医としてのキャリア形成

- これからの未来医療ビジョンについて」

国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター長 小宮 ひろみ 先生

- 自身のキャリア形成
- 女性外来の紹介
- 女性の健康総合センターについて
- プレコンセプションケアに対する取り組み

健康は、自己実現に欠かせない要素であり、女性が人生の各ステージで様々な健康課題を有していることを社会全体で共有し、女性が生涯にわたり健康で活躍できる社会を目指す。



4 講演（学内医師）

（1）「“続ける力”がキャリアをつくる

—働き方改革と腎臓内科—

金沢医科大学腎臓内科学 藤井 愛 先生

- ・続けること、キャリアを積むことで選択肢が広がる。
- ・学生の間に自分軸にあった方向性や未来を考えること。



（2）「夫婦で働く心臓血管外科学での1週間

（子どもと過ごす鍵）

金沢医科大学心臓血管外科学 宮澤 友貴 先生

- ・やりたいと強く思う気持ちを持つこと。
- ・協力的な職場環境と家庭環境があれば何でもできる。



5 総括

石川県女性医師支援センター コーディネーター 赤澤 純代

- ・働き方改革施行後、過去のモデルは意味がない。
- ・他人に振り回されるのではなく、自分で決めること。
- ・今日から育自に心がけること。迷ったらすぐ相談すること。

